

## 第5次茅野市総合計画 目指すべき将来像候補

## 八ヶ岳の自然、人、技、歴史が織りなす

## やさしさと活力あるまち

The city of kindness and vitality

woven with the threads of Yatsugatake nature, people, craft and history

## 【将来像に込めた想い】

茅野市は、八ヶ岳連峰を代表する雄大な自然に抱かれて縄文時代以来の長い歴史を歩んできました。長い時間（とき）をかけて培われた、「自然との共生」、「人と人とのつながり」、「生きる糧となる産業」、「縄文文化や代々引き継がれてきた伝統」は、私たち茅野市民の誇りであり、財産です。

これから先の日本は、そして、茅野市は、いまだかつて体験したことのない人口減少・少子高齢社会へ進んでいきます。そういった時代においては、これまで培ってきた誇りや財産を次世代に残しつつ、まちの営みを構成する様々な要素を組み合わせ、紡いでいくことが、暮らしやすく、より住み心地の良いまちを形づくっていきます。そして、そうした「まち」には、やさしさと活力が満ち溢れています。

そこで、第5次茅野市総合計画で目指すべき将来像を上記のように決めました。

## それぞれの言葉に込められた意味

「八ヶ岳の自然」…茅野市の誇れる象徴

「人」…人と人とのつながり、コミュニティの絆、支え合い、ひとづくり、「まち」の基礎的要素

「技」…産業、稼ぎ出す、活力の源

「歴史」…縄文文化、伝統、生活様式、文化

「織りなす」…複数の要素を組み合わせ、優れた全体像を成す

「やさしさ」…人間が生きていくために必要なこと、支え合い、品位、パートナーシップのまちづくり

「活力」…雇用の創出、市民の誇り、新たなことを産み出す、人口減少に立ち向かう

## 総合計画における将来像とは

- 茅野市の姿を現すキャッチフレーズではない。
- 茅野市を「どういった『まち』にしたいか」を表すもので、各分野のあるべき姿を包括するような「まち」のイメージになる。
- その結果、将来像は、幅広い言葉、普遍的な言葉になる傾向が強い。